

研修会内容(平成27年度)



○会員研修プログラム

開催自治体：兵庫県神戸市

ー7月28日 1日目(会員研修) 神戸市危機管理センターー

【リレー講演】

「これまでの20年、これからの20年」

講師	NPO法人神戸の絆2005 理事	松山 雅洋 氏
	神戸市企画調整局企画調整部総合計画課 課長	大島 博文 氏
進行	常葉大学大学院環境防災研究科 教授	田中 聡 氏

【パネルディスカッション】

「東日本大震災後の危機管理の取り組み」

パネリスト	仙台市危機管理室減災推進課 課長	阿部 和彦 氏
	いわき市行政経営部危機管理室 室長	杉岡 雄二 氏
コーディネーター	常葉大学大学院環境防災研究科 教授	重川希志依 氏

【神戸市内視察】

ー7月29日 2日目(公開プログラム) あすてっぷKOBEー

【活動紹介】

「117KOBEぼうさいマスタープロジェクトの取り組み」

117KOBEぼうさい委員会 メンバー 田中 瞳 氏

【パネルディスカッション】

「防災力で地域とつながる」

パネリスト	NPO法人プラス・アーツ	室崎 友輔 氏
	「防災女子」リーダー(神戸学院大学生)	高岸 明以 氏
	西宮市都市局建築・開発指導部開発指導課 課長	畑 文隆 氏
	小千谷市地域復興支援員	細金 創 氏

コーディネーター
常葉大学大学院環境防災研究科 教授 田中 聡 氏



丸山会長



広瀬神戸市危機管理監

会員研修

【リレー講演】「これまでの20年、 これからの20年」

■ NPO法人神戸の絆2005 理事 松山 雅洋 氏

阪神・淡路大震災当時、消防職員として経験された貴重な体験や、当時の被害状況をご紹介いただきました。また、災害対応力向上のため整備した施設についてもご説明いただき、大都市ならではの規模の大きいお話に目を見張りました。



会員研修

【リレー講演】「これまでの20年、 これからの20年」

■ 神戸市企画調整局企画調整部総合計画課 課長 大島 博文 氏

震災で得た経験や教訓の継承・発信について、また、次なる災害に対する備えについて、ご説明いただきました。震災未経験者がどんどん増加しているなか、様々な手段により風化を防いでいる取り組みをご紹介いただきました。



防災教育、震災を知らない若い世代の活躍



- 小学生防災教育発表会
- 国連防災世界会議
関連事業への参加...

会員研修

【パネルディスカッション】

「東日本大震災後の危機管理の取り組み」

パネリスト 仙台市危機管理室減災推進課 課長 阿部 和彦 氏

いわき市行政経営部危機管理室 室長 杉岡 雄二 氏

コーディネーター 常葉大学大学院環境防災研究科 教授 重川 希志依 氏



左:仙台市 阿部氏

右:いわき市 杉岡氏



東日本大震災により大きな被害を受けた両市から、地域防災計画を主に、震災後見直した点についてお話しいただきました。ご苦労された点や工夫された点など、復旧・復興の道のりを歩んでいる最中の両市から直接お話を聞くことができ、大変貴重な時間となりました。また、長野県飯田市様から、「ファーストミッションボックス」の話題提供もいただきました。

【神戸市内視察】



阪神・淡路大震災で特に被害の大きかった新長田地区を、神戸市担当者や地元商店街の方の案内により視察しました。住民主体でまちづくりを進め、数多くの特色を持ったまちに生まれ変わった様子に、参加者の方も関心を寄せていました。



公開プログラム

【活動紹介】

「117KOBEBょうさいマスター プロジェクトの取り組み」

■ 117KOBEBょうさい委員会 田中 瞳 氏

自身も含めた若い世代に震災当時の経験や記憶は伝わっているだろうか、生かされているだろうかと考え、兵庫県内6つの大学に通う学生や神戸新聞社などと展開している活動についてご紹介いただきました。震災の経験など自分たちが学ぶだけにとどまらず、同年代や子供たちに広めたいと活動する姿に、頼もしさを感じました。

117KOBEBょうさいマスターとは・・・

各自治体の市民救命講習(普通救命コース1)取得と、所定の5つの動画講座を視聴して応募した方を「117KOBEBょうさいマスター」として認定しました。



メディア露出



公開プログラム

【パネルディスカッション】

「防災力で地域とつながる」

パネリスト NPO法人プラス・アーツ 室崎 友輔 氏
「防災女子」リーダー 高岸 明衣 氏
西宮市都市局建築・開発指導部開発指導課 課長 畑 文隆 氏
小千谷市地域復興支援員 細金 創 氏
コーディネーター 常葉大学大学院環境防災研究科 教授 田中 聡 氏



公開プログラム

【パネルディスカッション】

「防災力で地域とつながる」



室崎 友輔 氏
楽しみながら防災について考えるプログラムを提供。「地域で定着し、住民自らが携わっているのを見るのが嬉しい。」



高岸 明以 氏
暮らしの備えアイデアコンテストで最優秀賞を受賞した防災女子のリーダーとして活動。「女性の視点から防災のあり方を考えたい。」



畑 文隆 氏
経験をいかし、東日本大震災では南三陸町で復興計画やまちづくりに携わる。「普段からの地域活動が、いざという時に力を発揮。」



細金 創 氏
地域の中と外の人を結びつけたいと、様々な団体を受け入れる。「今後は防災にも目を向けて地域で活動したい。」